



甲斐市立玉幡小学校 学校だより 第5号

# チーム玉幡

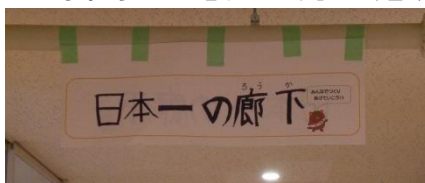
平成30年 6月 6日(水)  
校長 望月和彦

## 子どもたち自身でよい良い学校をつくる！

全校児童にとって「毎日が楽しく学びのある学校にしよう」(学校経営方針)と教職員は日々取り組んでいるところですが、主人公である子どもたち自身も「より良い学校にしよう」との取り組みを始めています。その中心となるのが「児童会」です。今年度も5月8日に3年生以上の全児童が体育館に集まり、第1回児童総会が行われました。私は出張のために見ることはできませんでしたが、児童会スローガン「笑顔100% かがやけ玉小パワー」のもとで、「なかよし活動」「チャレンジ活動」「お助け活動」を三本柱にして児童会活動を展開していくことが決定しました。議事の中では、スローガンや活動方針のほか、楽しい学校づくりのための給食のアイデアや「無言清掃」を徹底するための取り組みの話し合いなどが行われたようです。すでに始まった児童会活動をいくつか紹介します。



児童総会の様子



5月29日の代表委員会では、チャレンジ活動の一つとして、6月のめあて「ろうかや階段は静かに右側通行しよう」が決定しました。本部役員が朝の放送で呼びかけを行い、クラスごとに帰りの会で毎日の評価が行われています。また、5月30日には「なかよし活動」の一つとして、「あいさつビンゴ」(朝のあいさつをしてビンゴカードにサインをもらう活動)が行われま

した。「日本一のろうか」やあいさつがしっかりできる学校をめざした子どもたち自身の取り組みが行われています。「無言清掃」も児童総会での話し合いの結果、上級生を中心に意識が高まり、清掃中は話し声がほとんど聞こえないようになりました。



「静かに右側通行」



ボランティア委員会の活動風景

児童会活動のリーダーは8人の児童会本部役員ですが、本部役員以外の5年生以上の子どもたちが学校をより良くするため活動ごとにグループをつくって活動するのが委員会です。図書、放送、給食、保健、飼育、栽培、ボランティア、音楽、体育の9つの委員会があり、正副委員長をリーダーに毎日の活動

(常時活動)と特別な活動(一斉委員会の日や一時的な活動)を行っています。自分たちの学校の問題点や課題を子ども自身に考えさせ、より良く、より快適にするための方法を考えさせたり、実際に取り組みせたりする児童会活動や委員会活動(クラスの中では学級会活動)は、社会で生きていくために必要な課題解決能力、リーダーシップ、協力性、責任感、勤労意欲などを育てる大切な場になっています。

## 健康なからだと体力づくり

本校の中休みや昼休みの様子を見ていると、多くの子どもたちが校庭に出て友だちと遊んだり、走り回ったりしている姿が見られます。昨年度の体力テストの質問回答結果を見ていても運動の頻度や運動時間は全国や県に比べても少ないようには思えません。しかし、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ボール投げなど、体力テスト各種目の結果を見ると、県平均や全国平均を下回っている種目が男・女のいずれにも多いことがわかりました。

そこで今年度は、体力アップにつながり、楽しみながら身体を動かすことができるような「業間体育」（長い休み時間を使った全校での運動）に取り組むことにしました。他の教育活動や子どもたちの遊びの時間も大切にしながら計画しています。1学期は5月16・17・22・25日に「体づくり運動」としてラジオ体操と簡単にその場でできる運動を全校で行いました。ラジオ体操では、真っ直ぐに並ぶのに時間がかかったり、左右が逆になってしまったり、手足の曲げ伸ばしができなったり、最初はばらばらでしたが、回数を重ねるごとに全員がそろってきて格好良くなってきました。きちんと曲げ伸ばしをするとかなりの体力を使うこともわかったようでした。「いうこといっしょ、やることいっしょ」ゲームでは、全校が声を張り上げ、楽しみながらからだを動かすことができました。5月30日の甲斐市チャレンジデーでも同じ運動をしました。2学期、3学期も日数を決めて取り組んでいきます。



## 嬉しかった話

5月23日の朝、私が7時半過ぎに学校に到着し校庭を眺めると、南側に玉小の体育着ではない服を着た子どもたちが座って何かをしていました。近寄ってみると、玉幡中学校の野球部の生徒15名くらいと顧問の信田先生が草取りをしてくれていました。当然ながら本校の卒業生も何人かいました。私は「おはようございます」とあいさつを交わしながら、信田先生に「なぜ、草取りをしてくれているのですか」と聞きました。信田先生は「玉中野球部の生徒の中には、玉小出身者もたくさんいます。玉幡小やこのグラウンドにもお世話になったので、地域への奉仕活動として今日は突然ですが、草取りをさせていただきました」とおっしゃっていました。作業が終わったので、私や長谷川教頭先生から「ありがとうございました。玉中野球部の活躍を応援しています」と伝えると、彼らは駆け足で中学校へ戻って行きました。野球部の生徒たちと顧問の先生が、授業が始まる前に一生懸命草取りをしてくれたことに感謝すると同時に、とても嬉しくなり、先日の全校集会で全校児童に紹介したところです。



また、5月30日にはスポーツクラブ「アストレ」に所属している子どもたちが、朝6時に玉幡体育館に集合し、周辺のごみ拾いボランティアをしてくれたという話を聞きました。ゴミゼロの日に、いつも利用している体育館に感謝する意味でごみ拾いをしてくれたそうです。参加してくれた子どもたち、指導してくれた方々、ありがとうございました。

この2つの出来事に共通するのは、奉仕の心やまわりの人の役に立とうとする気持ちです。とても尊い心です。玉小の児童にそうした心がどんどん育てていくことを期待して止みません。

## 不審者に出会ってしまったら・・・



最近、新聞やテレビでは小学生が巻き込まれる痛ましい事件の報道がありました。本校としても子どもたちの生命や安全を守るために、できる限りの対策や指導を行っているところです。5月31日の2校時、体育館に全校児童を集めて、スクールサポーターの高橋さんと荻崎警察署の佐藤さんを講師に「防犯教室」を開きました。不審な人に出会ってしまった時にどう行動したら良いのかを、「いかのおすし」という言葉でわかりやすく説明していただきました。後半には、学年ごとに大声を出す訓練や、佐藤さんを不審者に見立てて代表の児童が実際に逃げる訓練をさせてもらいました。頭でわかっているだけでは、実際に行動できなくなることも体験できたようです。今回学んだことを子どもたちには忘れずに覚えていて欲しいです。

